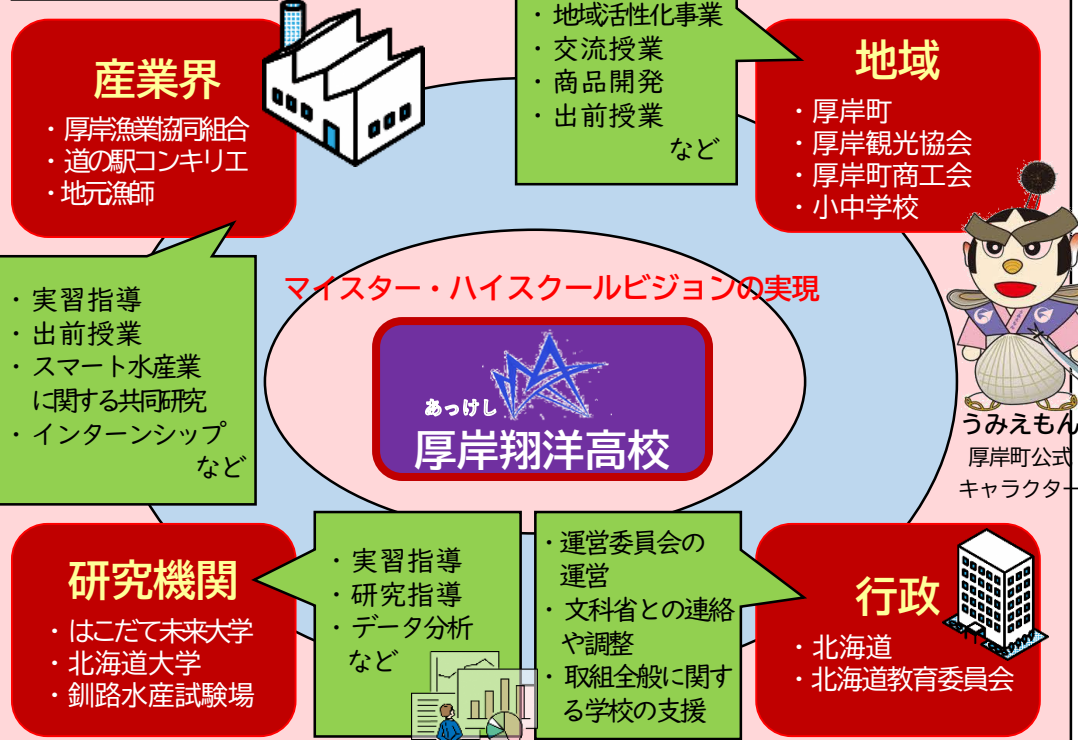


地域の未来を創るマリン・イノベーターの育成 ~IT導入による持続可能な地域社会の創造~

事業の目的

水産分野の産業構造が変化し、仕事の内容の革新が求められる中、カキやアサリ、コンブといった水産業を基幹産業とする厚岸町において、IT技術を活用したスマート水産業の実践を通して、地域の資源管理型漁業の推進に寄与するとともに、デジタル人材の育成をはじめとした地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の職業人を育成する。

実施体制



事業概要

①水産資源の持続化に向けた取組

- 沿岸漁業における漁獲データをデジタル化
- 魚群探知機の技術習得と資源管理型漁業の推進
- カキやアサリなどの養殖施設にスマートブイを設置して海洋環境を把握

②漁家経営の持続化に向けた取組

- 沿岸漁業者と各種データを共有して資源管理を推進
- 実習の様子をカメラで撮影して作業効率化と安全体制の構築
- ドローンやAIを用いて赤潮など漁場環境の変化に対応

③地域経済の持続化に向けた取組

- 地元水産物の料理レシピの開発とネット販売による魅力発信
- 未使用資源の有効利用と商品のブランド化
- 食と観光をミックスした観光パッケージツアーの開発

期待できる成果

- ★ **未来に翔く人材の育成**
 - スマート水産業を牽引したり、地域資源の商品化・ブランド化を推進したりするなど、漁業・食・観光の分野で地域創生の担い手として活躍する人材を輩出
- ★ **持続可能な開発目標 (SDGs) の実現**
 - 目標の「14海の豊かさを守ろう」をはじめ、食料問題や産業振興などに関わる目標の実現に資する取組を推進
- ★ **脱炭素 (カーボンニュートラル) への貢献**
 - ITを活用した効率的な漁業によって、船舶などの排出するCO₂が削減
- ★ **水産・海洋高校のモデル校として研究成果を全国に普及**
 - スマート水産業に取り組む高校が増え、各地域の水産業の振興に寄与

運営委員会

- 高校段階で育成すべき人材像の検討
- 人材育成のための実施計画の策定 (マイスターハイスクールビジョン)
- マイスター・ハイスクールCEOの選任
- 産業実務家教員の選任
- 実施計画の検証・改善、進捗管理

事業推進委員会

- マイスターハイスクールビジョンに基づき教育課程の検討
- 教育課程の編成・実施
- 指導計画の作成
- 単元配列表の作成・改善
- 各事業の計画・実践・まとめ 検証・評価・改善

検証・評価 指導・助言

課題まとめ 進捗・報告



地域の未来を創るマリン・イノベーターの育成 ~IT導入による持続可能な地域社会の創造~

事業の目的

水産分野の産業構造が変化し、仕事の内容の革新が求められる中、カキやアサリ、コンブといった水産業を基幹産業とする厚岸町において、IT技術を活用したスマート水産業の実践を通して、地域の資源管理型漁業の推進に寄与するとともに、デジタル人材の育成をはじめとした地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の職業人を育成する。

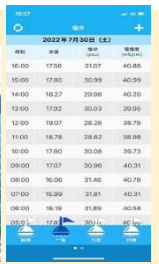
令和4年度の主な取組



和田CEOによる講義で「スマート水産」について学び、環境問題や未来の水産業を考えるきっかけになった



「海を見える化」するために、スマートブイを設置し、リアルタイムで水温・塩分、流速を確認できるようになった



漁業者及び水産試験場職員から「アサリ漁業の将来」に関する出前授業を受け、地域の養殖漁業を学ぶことができた



「未利用魚の有効利用」に関する研究を行い、実務家教員や地域の方の協力を得てアメマスの揚げかまぼこを開発できた



専門家から「食品開発における官能評価」の出前授業を受け、実験の中で商品開発の楽しさと難しさを学ぶことができた



令和5年に地元で行われる「全国豊かな海づくり大会」の公式弁当メニューを試作し、地元食材の魅力を再発見できた

評価と課題

<定量的目標に関する評価結果>

項目	目標	実施月	1年	2年	3年	全体
1 地域に魅力を感じ愛着を持っている	80%	6月	75%	60%	94%	77%
		1月	81%	60%	81%	74%
2 地域課題を発見し、解決に向け多面的に考え行動できる	80%	6月	25%	7%	56%	30%
		1月	31%	7%	50%	30%
3 将来、地域のために貢献したいと考え、行動できる	80%	6月	63%	27%	69%	53%
		1月	56%	20%	63%	47%
4 様々な産業人との交流を通し自身の進路を考えている	80%	6月	50%	67%	88%	68%
		1月	69%	60%	81%	70%
5 希望進路に関連した資格取得に取り組んでいる	80%	6月	56%	60%	56%	57%
		1月	31%	47%	94%	57%
6 ITやICTの役割を理解し活用できる	80%	6月	75%	60%	94%	77%
		1月	56%	7%	56%	40%
7 卒業後、漁業や調理など地域の主要産業に就職した(就職したい)	66%	6月	75%	80%	56%	70%
		1月	63%	67%	81%	70%

<定性的目標に関する評価結果>

項目	実施月	1年	2年	3年	全体
1 社会人・職業人としての基礎となる知識・技術	6月	50%	67%	56%	57%
	1月	50%	47%	75%	57%
2 コミュニケーション力	6月	63%	67%	81%	70%
	1月	69%	53%	75%	66%
3 協働する力	6月	88%	80%	88%	85%
	1月	88%	60%	81%	77%
4 自己管理能力	6月	94%	80%	75%	83%
	1月	75%	73%	81%	77%
5 思いやり	6月	94%	93%	88%	91%
	1月	94%	87%	94%	91%
6 思考力	6月	81%	87%	94%	87%
	1月	81%	93%	81%	85%
7 道徳心	6月	94%	73%	75%	81%
	1月	100%	93%	81%	91%
8 自己肯定感	6月	81%	80%	94%	85%
	1月	63%	53%	88%	68%

<成果と課題>

- ・地域の主要産業(漁業・調理等)に就職した3年生の割合が81%と高くなった
- ・定性的目標の項目である本校が3年間で「育成を目指す資質・能力」については3年生で概ね8割の高い結果となった
- ・地域の課題の発見や、地域の将来について考える学習の充実などが課題である

<次年度の方向性>

- ・漁業のスマート化に向けた研究開発
- ・水産物の高付加価値化に関わる知識技術の習得と、開発レシピや加工品の商品化